

事業所における自己評価表(放課後等デイサービス公表)

実施日 令和元年10月15日～11月2日

主に従事している支援員 7名 回答率100%

下野市こども通園センターけやき

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>			十分な広さを確保しており、また個別対応も可能な別室を設けています。
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			人員配置基準は満たしており、現在の利用者数に対して適切な人員が配置されています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>			令和元年10月にアンケートを実施。集計したものを職員間で共有し、改善につなげていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>			けやき便りでもお知らせいたしますが、12月にホームページで公開いたします。ご覧になってください。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			<input type="radio"/>	実施していないため、今後検討していきたいと思えます。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>			毎月、法人内の児童部専門研修や、職員研修その他外部への研修へも参加しております。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>			定期的に必ず全利用者を対象に実施しております。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している			<input type="radio"/>	今後児童部で取り組んでいきたいと考えています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>			全職員の意見をとりいれながら活動プログラムを立案しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>			狙いを定めた上での活動プログラムの計画を立案し、継続的に行うことにも留意しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>			休日はイベント等外出を取り入れ買い物学習などを行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>			ひとりひとりのニーズに合わせて組み合わせ、計画を作成しています。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>			毎日、打ち合わせを行い前日の事やその日の送迎(乗降者チェック)、担当、活動等について確認を行っています。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>			職員間でその日に気づいたこと、ニコリホットやヒヤリハット、保護者からの相談等情報の共有や対応策の検討が行われております。	

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			毎月のモニタリング会議の実施により全職員の目で児童を捉えることを必要としております。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	○			生活習慣、運動、音楽、認知、言語、創作活動のプログラムを工夫し療育を行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			事業所の管理者、児童発達支援管理責任者、担当支援員等が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			今年度は学校との連携会議を行いました。それと共に日々の申し送りを密に行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			○	看護師不在の為、不安もありますが保護者との連携をしっかりとしていきます。今後看護師の配置の要請をしていきたいと思っております。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			電話や地域の会議棟で情報共有をしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			○	法人内では情報を共有することが出来ますが、他事業所へ移行した子どもたちについては行っておりません。そのような機会がありましたら支援の情報を共有できたらと思います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			年2回、市主催の専門研修に参加して専門的な助言を受け支援に反映しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			○	利用者様のご兄弟と一緒に出来るイベント等を積極的に取り入れていますが、今後、市の児童館の館長さんの計らいにより、児童館との交流を考えています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			市の自立支援協議会へ管理者が参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			学校からの申し送り、発作等の様子、活動中での様子等、保護者の方との連絡、相談を密に行っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○	ペアレントトレーニングは行えていませんが、対応策など日々の申し送りの際に提案させていただいています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			主に管理者や心理担当職員、他にかかわりの深い職員が丁寧に対応しております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			親子参加型のイベントを開催し保護者同士の共有の場として開催しております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情があった場合の報告、経過の観察、速やかな現場の支援体制の改善を目指しております。

非常時等の対応	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月のけやき便りにて前月の活動や今月の行事について周知を行っております。また、活動のプログラムや狙いについても新たに発行していきます。
	35	個人情報に十分注意している	○		事業所内で周知徹底をしています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		コミュニケーションボードやサインやジェスチャーの使用、絵カードやシンボル等によるコミュニケーションツールを用い支援を行っております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	親子ミュージックケアの案内を市役所や児童発達支援センターへ配布させて頂いていますが、参加までに至っていません。次年度は、様々な施設にチラシを配布し積極的に周知をしていきたいと考えています。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		毎年、緊急時対応について年度初めに文書にて周知しております。不審者対応マニュアルが不備だったため作成周知していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年1回図書館と合同による総合訓練、年2回けやき独自による火災・地震の避難訓練を行っております。今後引きとり訓練や不審者による避難訓練等を考えております。
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		利用者様の対応についてのチェック表を行い虐待防止に努めております。今後も一人一人意識し、支援をしていながら事業所全体で環境整備を行っていききたいと思います。	
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		保護者様へ説明し、了解を得た上で同意書を頂いております。やむを得ず身体拘束を行った場合には担当した支援員が記録を残し、職員間で共有をしています。	
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者様のアセスメントシートよりアレルギーの一覧表を作成し職員間で共有しております。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットファイルを作成し打ち合わせ等で報告し職員間で共有しています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。